

農 研 速 報

平成 26 年 8 月 1 日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
 〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
 TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

作物名(大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	問 題 点	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 開花期 納豆小粒 第 12 本葉 展開期 (7 月 28 日調査)	4 日早い 平年並	<p>6 月第 5 半旬から 7 月第 5 半旬までの気象概況は、平年と比較して日平均気温が 0.5℃高く、日照時間は平年比 93%、積算降水量は平年比 90%であった。特に 7 月第 5 半旬は日平均気温が平年より 3.6℃高く、日照時間は平年比 189%で降雨はなく、晴天で暑かった(龍ヶ崎アメダスデータ。平年値は直近 5 ケ年の平均値)。</p> <p>生育ステージは、タチナガハが開花期で 4 日早い。納豆小粒は第 12 本葉展開中である。</p> <p>地上部の生育はタチナガハ、納豆小粒ともに主茎節数はやや多く、主茎長、茎の太さは平年を上回り、分子数はかなり多い。そのため、生体重は平年よりかなり重い。</p> <p>生育量が平年より上回り、タチナガハの開花が早まった理由は、播種後から降水量と日照時間がやや少なく推移したものの気温がやや高く推移したことが考えられた。</p> <p>現在の生育状況は表および図 1 の通りである。</p>	特になし	<p>●1 回目の中耕培土を 7 月 8 日に子葉節まで、2 回目の中耕培土を 7 月 22 日に初生葉節まで実施した。</p> <p>○紫斑病及び英害虫の発生に注意する。薬剤の準備を早めに行い、適期防除に努める。</p> <p>○開花期以降の水分不足は着莢数の減少につながるため、必要な場合は灌水を行う。</p> <p>○病害虫の発生動向については、病害虫防除所のホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)</p>

表 生育診断調査(7月25日調査、播種後36日。開花期は7月28日調査)

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月28日	-4	-4	43.2	117	135	11.2	105	106	3.6	144	257	7.6	99	121	83.9	119	241
	(8月1日)	(8月1日)			(36.9)	(32.1)		(10.7)	(10.6)		(2.5)	(1.4)		(7.7)	(6.3)		(70.3)	(34.8)
納豆小粒	-	-	-	42.9	132	149	11.7	107	109	4.7	162	224	7.6	101	127	83.6	147	220
	(8月6日)	(8月6日)			(32.4)	(28.8)		(10.9)	(10.7)		(2.9)	(2.1)		(7.5)	(6.0)		(57.0)	(38.0)

試験場所: 農業研究所水田利用研究室内圃場(龍ヶ崎市、中粗粒灰色低地土)。

()内は前年値又は平年値。平年値は直近5ヵ年分(平成20年~25年、平成24年は天候不順により播種期が7日遅れたため除外)のデータの平均値。

茎の太さ: 第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の中間で最も太い部分を測定した。

耕種概要: 6月19日播種、11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量; N-P₂O₅-K₂O: 0.3-1.2-1.2(kg/a)



図1 農研水田利用研究室圃場における生育状況(7月25日撮影)

播種日: 6月19日、栽植密度: 11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a): N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2